



技術講習会のご案内

地盤に起因する土木・建築のトラブル事例とその解決に向けての地盤品質判定士の役割

＜住宅地盤における軟弱地盤・盛土・擁壁のトラブル＞

2013年から開催の「地盤に起因する建築紛争の解決に向けたワークショップ」を2016年から地盤品質判定士協議会が引き継ぎ、地盤品質セミナーとして開催します。ご興味のある方は是非ご参加ください。

共催：地盤品質判定士協議会、土木学会 協賛：NPO住宅地盤品質協会、地盤工学会 など

日時：2017年2月18日(土) 10:00～17:30 (受付開始：9:30～)

場所：日本大学理工学部駿河台校舎1号館 GST ホール (御茶ノ水駅より徒歩約5分)

参加費：セミナー(資料代込)のみ参加 事前納付 5,000円 当日納付 6,000円 (交流会開催あり)

定員：200名(先着順) 申込締切：2017年2月3日(金) 必着

※申込方法及び詳細は、地盤品質判定士協議会 HP でご確認ください。(<https://www.jiban.or.jp/jage/>)

■プログラム■ (抜粋・敬称略)

- ・既存擁壁の諸問題 : 大里重人 (地盤品質判定士/㈱土質リサーチ)
- ・小規模不安定斜面対策 : 高橋一紀 (地盤品質判定士/㈱カナコン)
- ・宅地地盤の性能評価のための現場水浸沈下試験方法の研究開発 : 渋谷 啓 (教授 / 神戸大学)
- ・地盤が問題となる裁判-裁判官の視点から : 熊谷 聡 (裁判官/東京地方裁判所 民事第22部)

「地震に備える住宅地盤セミナー」(主催：住宅地盤リスク情報普及協会)

(一社)住宅地盤リスク情報普及協会は、地盤の観点から住宅の防災を考える「地震に備える住宅地盤セミナー」を2017年1月より全国6会場で開催します。同協会はNPO住宅地盤品質協会とジャパンホームシールド(株)で設立した社団法人でレジリエンスジャパン推進協議会の一員として活動しています。

当協会の「住宅地盤を対象とした液状化調査・対策の手引き」作成委員会がWGに参画し刊行した「住宅を対象とした液状化調査・対策の手引き」の解説を行います。

その他に、東日本大震災や熊本地震での事例を基に、住宅業界がとるべき法的な備えについてや熊本地震の現地調査やその「備え」についてご説明します。

1. 会場および日程 (いずれも13:30～17:00)

- ・名古屋：1月27日(金) ウィンクあいち
- ・仙台：2月14日(火) 仙台 PARM-CITY 131
- ・福岡：2月3日(金) 福岡 ARK ビル
- ・札幌：2月28日(火) 札幌市教育文化会館講堂
- ・大阪：2月7日(火) エル・おおさか
- ・東京：3月7日(火) 日本大学理工学部 GST ホール

2. プログラム

- (1) 熊本地震から見る、地震への備え/弁護士法人匠綜合法律事務所代表社員弁護士 秋野卓生氏
- (2) 熊本地震被害調査セミナー/ジャパンホームシールド株式会社 地盤技術研究所
- (3) 「住宅を対象とした液状化調査・対策の手引き」の解説/住宅地盤リスク情報普及協会、住品協技術委員会

3. 受講料：3,000円(消費税、テキスト代込み)

4. 申込み先および申し込み方法

セミナー事務局(総合土木研究所)【HP】<https://www.kisoko.co.jp/conference/170127p.html>

【FAX】03-3816-3077 【Eメール】sogodoboku@kisoko.co.jp

FAX、Eメール、ホームページにてお申し込みいただけます。お申し込み時に、氏名、勤務先、参加会場をお知らせください。折り返し聴講券、請求書を発送いたします。

5. 締め切り：各会場開催日の3日前まで ※定員に達し次第締め切りとなります。